

第5期 東久留米市地域産業推進協議会
(第9回会議録)

- 1 日 時 平成30年11月22日(木) 午後6時30分～午後7時30分
- 2 会 場 東久留米市役所6階602会議室
- 3 出席者等(敬称略・五十音順)

岩崎 哲二	大山 賢一	大山 裕嗣	小嶋 敦夫	齋藤 正人	篠宮 武博
篠宮 利則	篠宮 宣典	長谷山大輔	水越 泰弘	横山 和子	若林 弘子

事務局 山下、関、原、森本、小山、武井、笹生
オブザーバー 1名
傍聴者 2名
欠席者 瀬下

4 議 事

- (1) 協議会報告書について
- (2) 第5期協議会の総括(各委員より感想・意見)
- (3) 協議会報告書の市への提出について

5 会議内容(要旨)

● 開会・挨拶

(事務局) 第9回東久留米市地域産業推進協議会を開会する。まずは会長よりご挨拶をいただく。

(会長) お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日は2年間の集大成である報告書を作成させていただいている。市長にお越しいただき、この後報告書の提出をさせて頂く。我々の2年間の取組みを知って頂ければと思う。各事業部の2年間の成果が報告されているが、他の事業部の成果も皆様で共有いただき、さらに東久留米がより良くなるよう意識を持って活動して参りたいと思っている。

(事務局) 本日は協議会の総括であり市長にご出席いただいている。

<市長挨拶>

(市長) 2年間に渡り東久留米の魅力づくりや持続可能なまちづくりのため一生懸命取り組んで頂いた。皆様には感謝を申し上げます。後程、報告書をしっかり読み上げ今後に生かしていきたいと思っている。報告書を作って終わ

りではなく、どのように事業をこれからも続けていくか、このアイデアをどう活かしていくかが大切であり重要であると思っている。引き続きそういった事を続けて行けるようにフォローアップしていく事も大切だと思っている。行政ではなかなか手が付けづらいこと、また手の届かない様な事を皆様民間の発想で取り組んできていただいた事に感謝を申し上げるとともに、色々なヒントがこの中には蓄積されており、これからのまちづくりに活かさせて頂ければと思っている。みなさまに感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

(事務局) 次第では、議事の最後に市長へ報告書を提出することとなるが、他の公務の都合により協議会報告書の提出について順番を替えさせて頂き、ここで協議会報告書の市への提出を行わせて頂きたい。

●協議会報告書の市への提出について

会長より報告書を市長へ提出
市長退席

● 報 告

(事務局)

・東久留米市民みんなのまつり

…11月10日 20,700人来場、11月11日 21,600人来場

・第5回七福神めぐり実行委員会(11月13日開催)

…詳細については〇〇委員より。

(委員) 毎年皆様にご協力いただいている東久留米七福神めぐりを平成31年1月12日(土)に開催する。本日が最後の地域産業推進協議会であり、次期協議会は未定。連絡をできるのは今のメンバーとなる。5期メンバーから有志でボランティアの協力をお願い致したい。会長どうか。

(会長) はい。

(委員) 会長より了解頂いたので、事務局より皆様宛にお手伝いのご案内をさせて頂く。

(事務局)

・ゆるキャラグランプリの結果について

8月1日～11月9日に開催されていた「ゆるキャラ®グランプリ2018」の結果が発表された。全国ご当地部門のエントリー数688キャラクター中203位、1852ポイントを獲得し、昨年よりも順位を上げる事ができた。

・J:COMの番組「長(ちょ～)っと散歩」に市長と篠宮会長が出演した。

(会長) 北多摩地区各市の”長”が地域を巡る地域情報エンターテインメント番組に、地域産業推進協議会会長としてゲスト出演しダイヤモンド富士のPR

をさせて頂いた。

(事務局)

- ・ダイヤモンド富士東久留米 12月18日～12月25日に開催。
西武鉄道へ周知依頼中（沿線駅へもポスター掲示を調整中）

● 議 事

(1) 協議会報告書について

(事務局) 本報告書の作成にあたり各事業部でご審議いただいていた。「協議会の今後」につきましては各事業部に調製いただいた報告書をもとに、ご意見をいただきながら取りまとめたものだ。既に委員の皆様には修正点等ご指摘いただき、それらを反映したものを机上に配布している。

(会長) 事務局より報告書調製の経緯について説明があった。すでに内容についてはご確認いただいております。確定版報告書をお手元に配布しているが、改めて確認いただきたい。

この東久留米市地域産業推進協議会報告書を報告書とすることに異議はあるか。

(一同) 異議なし。

(会長) この報告書を確定版とする。

(2) 第5期協議会の総括（各委員より感想・意見）

(会長) 第5期協議会の総括とし、各委員より感想や意見を願います。

<イベント推進事業部>

(委員) イベント推進事業部として2年間を振り返ると、継続事業を除いてゼロからのスタートであった。委員の皆様の意見を頂戴し事務局へ調査・打診・報告の順番で進めてきた。その後、農商業を同時に活性化させることをメインテーマに協議を進めてきた。そのうちの一つPRプレートが完成した。後は配布するだけである。東久留米市の特産品等で統一プレートをつくり、これを各所へ配布して回る。今後これが期待を持てると思っている。また、地場産野菜の料理教室、農業体験ウォーキングなど親子そろって参加された方が目立ったイベントが多かった。お子様の笑顔が印象に残っている。今後も、こういった形で親子での参加者を増やすことで、地域の活性がどんどん広がっていくのではないかと感じている。

(委員) 地域産業推進協議会は3期6年続けさせて頂いた。みなさんと一緒に地域愛、地元愛、本当に東久留米が大好きな皆さんの熱い思いの中一緒にやれたことに感謝している。若い方が本当に東久留米の事を思い、みんなで色々な

ことができた。本当に私にとって財産になっている。知恵はどこまで出せたかはわからないが、楽しく過ごせた期間だった。今後も、皆様の若い力で東久留米を盛り立てて頂きたいと思っている。私は、出会いこそが宝だと思って生きており、宝物がいっぱいできた。

(委員) 2年前に新しく委員になり、皆さんに優しく迎え入れて頂き楽しく過ごすことができた。印象に残っているイベントは親子農業体験ウォーキングで、たくさんの親子が参加し、子ども達が凄い笑顔で一生懸命歩いてくれた。農業体験もいろいろ出来すごく良かったと思っている。カレーイベントが出来なかったことが心残りだ。はし☆チョコショートムービーコンテストでは、私の所属する直売会が、賞を取る事ができてすごくうれしかった。

(委員) この2年間は皆に会うのもとても楽しく、すごくためになった期間だった。子供と一緒に参加した親子農業体験ウォーキングは、とても楽しかった。地域の為になる事ができればと思っている。今後ともよろしく願います。

<情報発信推進事業部>

(委員) 情報発信推進事業部は、会議回数がずば抜けて他の事業部よりも多かった。事務局には色々のご尽力頂き感謝している。はし☆チョコショートムービーコンテストなど、新しいことを行うには凄くパワーがいる。また、色々な意見もあったと思うが、それを吸収し次のステップへ繋げていきたいと思い始めた事業であった。Facebook ページ「東京はしっこチョコット東久留米」においても、最初は中々投稿してくれないのかなと思っていたが、やっていくうちに楽しくなったり、動画を投稿してみたり、色々な工夫をして作り上げてこられたと思っている。みなさんが東久留米の事を思い、東久留米を良くしようとやっている事なので間違いはなかったと思っている。

(委員) 2年前に新しく委員となった。最初は真っ白な状態から、何をやるかと話し合いが続いた。大山事業部長からもあったように、一から何かをつくる事は凄くパワーがいることだ。しかし、ゼロから皆で色々な意見を出し合い、より良いものを一からつくっていく事は楽しかった。いい経験をさせて頂いたと思っている。

(委員) 自分の中で焦らず気張らずとの気持ちでやってきた。みんながいたおかげで楽しく行うことができた。悔いが残るのは、他の事業部事業に参加が出来なかったこと。違う角度からでも参加をしていきたい。地域産業推進協議会も、若い方が引っ張って行って頂ければ未来は明るい。

(委員) 昨年の4月から、前任の後を受け委員になった。私は東京とは違うがベッドタウンから派遣されており、東久留米と似通ったまちの成り立ちがある。ある方が「異日常が大切だ」とおっしゃっていた。日常でも、非日常でもなく、

異日常だと。住んでいる人にとっては日常でも、外から見た人が「自分の日常とは違う」と感じられるものを上手く表現できればいいのではないかとおっしゃっていた。東久留米市では、それが「湧水」だと思っている。これだけ都市化が進んでいる街に、あれだけの規模の素敵な湧水がある。それは、外から来る人間にとってはビックリする事だ。私の地元（三島市）も湧水があり、それを活かしたまちづくりを行っている。こちらでも同じように湧水を守る活動をする団体もあるとお聞きして、皆さん自身がもっともっと大切に思う気持ちが芽生えれば発信の部分でも勝手に広がっていくのではないかとと思っている。楽しく活動させて頂いた。

<新産業創出推進事業部>

（委員）新産業創出推進事業部は、特殊な事業部という事で皆様に上手く伝えられず分かりづらいこともあったかもしれないが、今後とも継続していかねればならない課題が残っているため続けて頂ければと思っている。私は5期10年続けさせて頂いている。当初は柳久保小麦、梅ワインほぼそれのみであった。それから七福神めぐり、湧水の妖精るめちゃん、野菜直売マップ、野菜販売、うどん乾麺事業、街バル、ダイヤモンド富士等を実施させて頂いた。今期協議会で5期目だが、情報発信推進事業部、イベント推進事業部とも素晴らしい事業をされたなと感じている。メンバーが新たに変わったことも大きな要素の一つではないかと思っている。今後、協議会を辞められる方もいるかもしれない。是非、色々な場面でご協力を頂ければと思う。継続される方は是非発展させて頂ければと思っている。遅いかもわからないが、10年続けて地域産業推進協議会の事業について、なかなか発展できていないものもあると気付く事になった。また、〇〇委員と私は5月より東久留米市商工会の副会長をさせて頂いている。その関係で、市役所各課が行う様々な会議に出席した際、地域産業というものに対してまだまだ知って頂いていない現状があるなと感じた。また、議員の皆様には、党派を超え、地域産業推進協議会に期待をして頂いている。なかなか一歩先に進まない理由は、行政の縦割りがそれを阻んでいるのではないかと感じている。この協議会がさらに発展するためには、産業政策課だけでなく、都市建設部、子ども家庭部等の連携は欠かせない事だと思っている。これは個人的な意見であるが、これを協議会の総意として会長、事務局の方から庁舎内、議会等で提言として、報告して頂ければと思っている。みなさんの東久留米市を愛する気持ちが伝わってきた。これからも是非、協議会だけではなく、一緒になって東久留米を盛り上げて行ければと思っている。

（委員）今期は2期目であり、今期は新産業創出推進事業部とイベント推進事業部の2つを掛け持ちさせて頂いた。可能な限り出席をする事、どんなことに

対しても自分の意見を言う事を心掛けてきた。思った通りに出来たところ、出来なかったところはあったが、1期目よりは進んだと自分の中では思っている。地域産業推進協議会で行っている事は、簡単に結果が出るのではなく、目に見える結果はなかなか出る事では無いとは思う。市民として、市内で仕事をしている人間として、仕事でも何でも一生懸命頑張って東久留米を良くしたいという思いを持って取り組んでいけば、一歩ずつでも良くなっていくと思っている。

(委員) 私は、東久留米市商工会の職員という立場で参加させて頂いた。最初に感じた事は、地域の皆さんが愛情を持って東久留米を良くしたいという思いで、一生懸命やっている事に感動した。それを商工会の事務局に持ち帰り、事務局の職員に我々は仕事で地域の産業を振興しなければならない中で、商工会の職員としてなにが出来るのかを常に言ってきた。それだけでも商工会にとって財産となったと思っている。個々の協議会の取組みも具体的なものが多く、私もやっていて楽しく勉強になった。商工会の職員として参加させて頂いている事で、市の考えている事、地域の皆さんが考えている事、そして商工会が出来る事、そういった事を考えられるようになったので、以前よりも商工会が行政とも地域の皆さんとも距離が近づいたのではないかと個人的には思っている。商工会としても皆さんが望んでいるようなことをやっているかを、常に考えながらやって行かなければならない。

(会長) 2年間ありがとうございました。先ほど〇〇委員よりお話しがあった様に、私も10年という時間をこの協議会に対して携わらせて頂いてきた。委員から始まり事業部長という立場でも経験を積ませて頂いた。前会長より引継ぎ、今季初めて会長という役職をやらせて頂いた。最初、どういう形にしようか、どのように皆さんと2年間やって行こうかを副会長とも話し合いを持ち、今の体制となった。報告書にもあるが、私だけ事業部には所属していない。その経緯として、私が事業部長をやらせて頂いていた時、各事業部の絆というか仲間意識、意見交換が楽しいポイントであり、色々な皆さんの意見が出やすい環境であると思い、あえて所属はせず会長という立場のみでやらせていただいた。最初の1年間は、事業部会への出席も控えており、2年目からとの心づもりでやってきた。そんな中、各事業部で呼んで頂く回数も増え、最後の方は毎回出席をさせて頂き、皆さんと共に楽しい意見交換をさせて頂いたと思う。2年間で皆さんが経験したこと、新しい仲間と知り合って意見を交換したことが、今後の東久留米の発展と近隣の市民の方に対する東久留米をPRする思いに繋がって頂ければ感じている。今期は、今日この日で終了となる。引き続き第6期があると思われる。その中で、お手伝いいただく事もあろうかと

思うが、今期2年間の事も踏まえ、引き続き東久留米の為に、我々が引っ張っていき気持ちで頑張っていきたいと思っている。初めての会長としての2年間、皆さんに支えられてやってこられた。本当に感謝申し上げます。

(3) 協議会報告書の市への提出について

(会長) 報告書についてはすでに市へ提出させていただいたため、次第5 連絡事項に進ませていただく。

●閉 会

(会長) それでは閉会にあたり事務局及び市民部長より挨拶をお願いします。

(事務局) 事務局として約1年9か月関わらせて頂いた。皆さまが満足できるような事務局ではなかったかもしれないが、まだまだ成長していくので今後に期待して頂きたい。

(事務局) イベント推進事業部の事務局を務めさせていただいた。農業振興担当をしており、親子農業体験ウォーキング、地場産野菜の料理教室を開催できたことはとてもうれしく思う。次世代を担うお子様たちに農業が東久留米の基幹産業だとアピールできたと思っている。

(事務局) 情報発信推進事業部で事務局をさせて頂いた。4月に異動してきたため7か月という短い期間ではあった。印象に残っているのは、はし☆チョコショートムービーコンテストである。前任が下地をかなり作った状況であったが、実際に作品を募集しても作品が集まらず、それに対して市長に出演をしてもらい、動画を作成するなどしてPRすることで作品が集まった。結果として35作品が集まり、最優秀賞には「JA 東京みらい東久留米直売会」の作品となった。新宿のKDDIの画面のあたりで、もしかしたらこの作品が放映されるかもしれないとの事である。色々な事に繋がって行きためになった。

(事務局) 新産業創出推進事業部で事務局をさせて頂いた。専門的な分野も多く、色々勉強させて頂いた。この経験が今後財産になると思っている。

(事務局) 情報発信推進事業部で事務局をさせて頂いた。今期は Facebook ページ「東京はしっこチョコット東久留米」を立ち上げた。運営をしていく中で、日々、東久留米では今どんなイベントが行われているか、どんな美味しいお店があるかなど考えるようになった。産業政策として良い事業をさせて頂いたと思っている。

(事務局) 今期は、新たな取り組みも含め、様々な取り組みがあった。皆さまからご意見を頂く中、そういう取り組みがあるのかと面白く思うことがとても

多くあった。民間活力をどう巻き込みながら事業をしていくかは、一つ重要な視点になっている所である。地域産業推進協議会が行った事業は、イオンを巻き込み、上手く時代の波に乗った事業が出来ていると思う。地域産業推進協議会の在り方を継続していく中で、皆様の組織にいる若い人たちが「やってみたい」、「行ってみたい」と思ってもらえるような楽しい協議会になればと思っている。そういった第6期が作れるよう引き続き頑張っていく。

(事務局) 皆様の取り組みにより、地域産業が着実に前進しているところと思っている。私が入庁し30年以上が経つ。当時から「少子高齢化の波がいずれ来るため行財政改革は大切だ」との流れの中で様々な業務をしてきた。まさに今、少子高齢化の波が現実化している。地方自治体が、市単位で生き残りをかけ、様々な戦略を立て行政を進めていく事になるとは当時思っていなかった。そういった中、いかに市内に人を呼び込むか住んで頂くかは、市の魅力を高めていくことである。冒頭で市長からもあった通り、持続可能な市政運営を財政面を含め取り組んでいる所である。そういった中で、地域産業の推進を皆様の協議会をもって前進させて頂いている。民間の皆様のお力をお借りしてというのは、東久留米市の宝である。第5期では様々な実績を残していただいた。第6期も編成させて頂く。そこではさらに皆様方のお力を持って進めて頂けたらとお願いさせて頂きご挨拶とさせて頂く。

(事務局) 以上で、第9回東久留米市地域産業推進協議会を閉会とする。